



山内 眞樹

公認会計士

コロナ後の経済はどうなるのだろうか。

経済の専門家でないの
で、理論的にも実際上も分
からない。第2次大戦前後
沖縄復帰前後と経済の激動
期をおぼろげながら体験し
て、貨幣価値の変動による
社会の変化を実感してき
た。

父は丁稚奉公、軍隊生活
など苦労したようだが、性
格は明るかった。お酒が大
好きで、貯金と保険は嫌い
だった。軍隊などで貯めた
戦前の貯金や保険が、戦後
無価値になった経験だと思
う。それはそうだろう、戦
後の物価上昇率は100倍
とも言われ貨幣価値が激減
した。そのとき、ある現大
手スーパ―は、あるだけの
現金を集めて商品に換え、
現金でなく実物にシフトし
て、混乱期を克服し後の大
をなした。

琉球新報 2020年6月6日
沖縄の復帰前後にも似た
ようなことが起こったよう
だ。1973年の3月に東京
から沖縄へ移住したが、
その当時の沖縄の人の話で

南風

物のねうちとお金のねうち

は、復帰前の1ドル札は、復
帰後の千円札よりもはるか
に価値があったと言う。復
帰前に借金をして不動産を
買っていた企業は、借金の
目減りと、不動産の値上が
りで大きな利益を得た。め
ったにはない経済変動の成
功例かもしれない。

戦後と復帰後の二つの激
動期が教示しているのは、
金融資産と実物資産の時点
的な価値の変化とその影響
である。

コロナ前後も大きな経済
変動が起きるだろう。経済
環境の激変と、ここ数年の
安倍総理や黒田日銀総裁の
貨幣膨張策、経済緊急対策
などで貨幣量も増している。
最近、緊急融資について、
企業から相談を受けること
が多く、従来は借金反対で
あったが、今回は借金すべ
きと答えている。

沖縄の人は、戦後、復帰
後と2度もお金の激動期を
経験しているので、賢く対
応してほしい。こんな折に、
企業間の格差は大きくつく
ようだ。

琉球新報

THE RYUKYU SHIMPO

第39998号

2020年(令和2年)
6月6日土曜日
[旧暦4月15日・赤口]

発行所 琉球新報社 C 琉球新報社2020年
〒900-8525 那覇市泉崎1-10-3 電話:098-865-5111

- ニュース・情報提供
098-865-5158
- 広告のお申し込み
0120-43-5059
- 購読・配達問い合わせ
0120-39-5069
- 本社事業案内
098-865-5253
- 読者相談室
098-865-5656